



	INF	REF	こども	電話	メール	中央計	行徳	BM	南行	信篤	平田	駅南	全館計
5月	660	491	383	5	8	1,547	1,315	43	186	119	125	524	3,859
累計	1,269	902	832	10	16	3,029	2,866	110	426	237	260	1,109	8,037

INF:インフォメーション・カウンタ REF:レファレンス・カウンタ BM:自動車図書館

📖 今月のレファレンス記録票から

分類

質問と内容

- 012 図書館における自動貸出/返却機の現状の導入率と、未導入館のその理由について分かる資料や参考になる資料を知りたい。

自動貸出/返却機の現状の導入率について関連する資料として、『図書館実態調査 令和2年度』（千葉県立図書館/編 2021）に千葉県内の導入状況の記載があった。

未導入館の理由について関連する資料としては、『図書館施設論』（中井孝幸，川島宏，柳瀬寛夫/共著 日本図書館協会 2020）p.28に、課題として「まだ、コストは高く、各メーカーで互換性に乏しいことやICタグの耐久性」と記述されている。

また、『図書館界』第64巻 第4号（日本図書館研究会 2012.11）p.237に「セルフ貸出の増加は何をもたらすか」（松井純子/著）という論文があり、この内容はインターネット上にも公開されている。

日本図書館研究会 (<http://www.nal-lib.jp/kai/v64/zahyo4.html> 6/3 確認)

- 188 『不動智神妙録』（沢庵宗彭/原著 池田諭/訳 徳間書店 1970）の文中に‘歌にも「心こそ心迷はず心なれ 心に心 心ゆるすな」とある。’という記述がある。この歌の作者は誰かを知りたい。

『典拠検索新名歌辞典』（中村薫/編 久保田淳/新訂 明治書院 2007）p.258に、該当の歌があり、出典および引用例として「目の前・巻下・迷ひの辻」「鳩翁道話・二下」と記載がある。作者名が示されていないことから口承などによる出典・作者未詳の和歌であることがわかる。

「目の前」（虚白齋/著）は『心学道話全集』第2巻（加藤咄堂/監修 忠誠堂 1928）に収録されており、国立国会図書館デジタルコレクションにて確認したところp.578巻下「1迷ひの辻」の項に、歌が引用されているが作者の明記はなかった。『鳩翁道話』（柴田鳩翁/著 柴田実/校訂 平凡社 1970）はp.49に、「こゝろこそ心まよはず…」の歌の記載があるが、作者は明記されていない。また、『道歌教訓和歌辞典』（木村山治郎/編 東京堂出版 1998）p.183に該当の歌はあるが、「作者未詳『鳩翁道話』二下」と記載。以上の調査結果から、この歌は作者未詳であると考えられる。

- 467.2 遺伝における「自然淘汰」と「中立説」の違いについて判り易く説明している本を知りたい。

遺伝における「中立説」とは、『分子進化のほぼ中立説 偶然と淘汰の進化モデル』（太田朋子/著 講談社 2009）p.28に「分子レベルの進化の大部分は、「自然淘汰に良くも悪くもない中立な突然変異が、偶然、すなわち遺伝的浮動によって集団中に広がり固定することによる」と説明されている。この「中立説」と「自然淘汰」についての論争が、p.30-31に記載されている。

（裏面へ続く）

また『分子進化学入門』(木村資生／編 培風館 1984)は分子進化学の入門書であり、比較的分かり易い説明がされている。P.27-30には「1.7 自然淘汰(自然選択)について」、また P.30-35では「1.8 分子進化中立説」について記載がある。

ご存知の方はご教授下さい。
908.3 20年近く前に読んだ本のタイトルが知りたい。

調べ 調べて
やぶ知らず

GIVE UP 事例

〈内容〉ヨーロッパの民話か昔話集に収録されていた短編か中編。実在の国名で、国内から狼が駆逐されている前提だった。女の子が昔話を聞いており、父親が、狼は実はまだ一頭居て、呪いに掛けられた木こりの若者だという話をする。若者にはお母さんが居て、お母さんは一人息子の帰りを待っている。呪いを解くには、名前を呼んであげなくてはならない。最終的に呪いは解け、木こりの若者は年老いたお母さんの元に帰った。

キーワードを狼、木こり(樵夫)、呪い、変身として、当館所蔵の文学事典や『ドナウ民話集』(パウル・ツァウネルト／編 富山房インターナショナル 2016)などの民話集を調査するも該当作品の記載なし。

他にもこんな質問ありました(クイック・レファレンスから)

分類	質問	⇒ 回答、補足事項、蘊蓄など
I/Q3	鬼高小学校の写真が載っている本を見たい⇒『しらさぎ 開校40周年記念誌 翔べ 鬼高っ子』(市川市立鬼高小学校 1996)を提供。	
034	寺に関係する言葉で「サンゴウ」という言葉について知りたい⇒『世界大百科事典 11』改訂新版(平凡社 2007) p.475に「山号」の項目があり紹介。	
291	里山の風景写真が主体で載っている大きいサイズの本が見たい⇒『美しき村へ 日本の原風景に出会う旅』(飯田辰彦／文 俵純治, 萱野勝美／写真 淡交社 2007)、『一度は訪ねてみたい日本の原風景 人・水・土が織りなす暮らし, 全国80選』(日本水土総合研究所／著 論創社 2018)を紹介。	
431	酸性・アルカリ性の違いについて小学生でもわかる説明が載っている資料を知りたい⇒『酸・アルカリと水溶液 実験はかせの理科の目・科学の芽 15』(大竹三郎／著 野崎加代子／絵 国土社 1996)、『ビジュアル理科事典 Visual Science Encyclopedia』(今泉忠明／〔ほか〕監修 学研プラス 2015)などを紹介。	
702	禅のアート作品が載っている本⇒『禅の心』(柘出版社 2016)、『もっと知りたい禅の美術』(薄井和男／監修 東京美術 2011)、『禅 心をかたち』(日本経済新聞社 2016)を紹介。	
751.3	ヨーロッパのティーカップの歴史について載っている本⇒『図説英国ティーカップの歴史 紅茶でよみとくイギリス史』(Cha Tea 紅茶教室／著 河出書房新社 2012)、『西洋陶磁入門』(大平雅巳／著 岩波書店 2008)などを紹介。	
810	中高生向けで古典文法を学びなおせる本⇒『もう一度高校古文 「日本の古典文学」作品の多様性がこの1冊で味わえる』(貝田桃子／著 日本実業出版社 2010)、『古典のおさらい』(真野真／著 自由国民社 2011)を紹介。	
Eミト	日本語で書かれたセサミストリート(芝麻街)の絵本があるか⇒『アーニーっていかしてる!』(エミリー・トンプソン／さく トム・クーク／え せなあいこ／やく 評論社 1995)他「セサミストリートのかなまたち」のシリーズを紹介。	